

## 知床データセンター等における情報の集約・提供について

釧路自然環境事務所

環境省では、関係行政機関・関係団体・専門家等が世界遺産地域において実施した事業・調査研究・モニタリング等の結果を、一元的に集約し、これらの関係者、地域住民その他知床に関心を持つ人々がその情報を容易に共有できるようにするため、インターネット上に「知床データセンター」の整備を進めてきており、来年度以降、本格的な運用段階に入る予定。

あわせて、この情報の集約、更新の手段として、遺産地域を対象に毎年作成する「年次報告書」の活用についても検討中。

また、本年4月には、現地での調査研究や普及啓発の拠点として「世界遺産センター」が斜里町ウトロ地区に開館する予定であり、知床データセンターに掲載されている文献や知床関係書籍を収集し、書庫において閲覧できるようなサービスを提供することとしている。

科学委員会・各WG委員、専門家、関係行政機関等においては、知床に関わる論文、各種資料、報告書の積極的な提供についてご協力をお願いする（具体的な内容は後日メール等にて連絡）。

知床データセンター等の現在の整備・検討状況は次のとおり。

### 1. 知床データセンター

- インターネット上に開設する知床世界遺産地域の管理に関する情報のポータルサイト  
（現在（改良前）のサイト URL <http://shiretoko.env.gr.jp/>）
- 知床国立公園や知床エコツーリズム推進協議会等他の関連サイトとの役割分担の上で、主に遺産地域の管理や保全に関する情報を収集し、データベース機能、情報提供機能（サイト内検索機能の追加など）を充実させる。
- 知床に関する次のものとし、主に pdf ファイルとして掲載。
  - ・各種会議資料（科学委員会、各WG、利用適正化検討会議他）
  - ・学術論文（日英）
  - ・各種報告書
  - ・モニタリングデータ※1
  - ・各種計画（遺産地域管理計画、国立公園計画等）
  - ・利用の心得等（先端部地域利用の心得、エコツーリズムガイドライン等）
- メタデータベースについては生物多様性センターが運営するクリアリングハウスメカニズムとも連携させる。

※1 モニタリングデータの記載については、科学委員会の議論と並行して引き続き検討する。

## 2. 知床世界遺産センター

- 展示等により、来訪者に遺産地域の価値と利用にあたってのルールを普及啓発を実施。
  - 環境省ウトロ自然保護官事務所を併設し、環境省職員の常駐体制を整備。
  - 100名収容のレクチャールームや遺産地域に関する書籍、文献、論文等を収集した書庫を設けることとしており、調査研究を支援する機能を整備する。書庫の管理は、自然保護官事務所の下に置く。
  - 書庫にある書籍、文献、論文等については知床データセンターのデータベースと連携させる。
  - 施設の一般的な管理運営は、関係機関による運営協議会を組織し、実施する予定。
- 
- ◆羅臼町ルサ地区に、遺産センターのサテライト施設として、「フィールドハウス」（仮称）を整備し、主に先端部地域及び海域に関する自然情報や利用ルール等の普及啓発を推進。
  - ◆羅臼側における調査研究の拠点として旧羅臼ビジターセンターを全面改修し、来年度から調査研究等のための滞在利用を可能とする。

## 3. 年次報告書

- 毎年、前年度に遺産地域内外で各機関・団体が実施した事業の実施状況、調査研究・モニタリングの結果等について取りまとめて作成。
  - 取りまとめた結果については、科学委員会及び地域連絡会議に報告し、御意見をいただき、当該年度以降の遺産地域の管理に反映するとともに、知床データセンターへの掲載、世界遺産センターでの閲覧等により広く公表する。
- 
- ◆今年度、試行版の作成を進めており、次年度の第一回科学委員会に提出する予定。  
(現在、検討中の構成案は別紙のとおり)

## 年次報告書目次構成（案）

### 今年度のトピック

- 新しい取り組み、最も力を注いでいる施策、一定の成果が得られた調査・研究結果、多くの人の参画・協働を促したい事項を取り上げる。
- 紙面の構成は、他の項目に比べ、図表・写真等視覚的に訴える素材を多めに使用し、読みやすさを重視する。

### I 知床の自然環境

1. 地形・地質
2. 植生
3. 野生動物
4. 気象・自然現象
5. 景観

### II 知床を取り巻く社会環境

1. 人口
2. 産業（漁業、林業、農業）
3. 観光
4. 道路・交通
5. 土地所有
6. 権利制限
7. 人文歴史

### III 知床世界自然遺産の利用状況

1. 地域全体の状況
2. 知床半島中央部地区の利用状況
3. 知床半島先端部地区の利用状況

### IV 知床地域の保全管理の状況

1. 施設整備・維持管理の状況
2. 生態系管理のための事業
3. 普及啓発活動の状況
4. 各種調査等の実施状況とその概要
5. 巡視活動の状況
6. 各種会議等の実施状況とその概要（知床世界遺産地域連絡会議、知床世界遺産地域科学委員会、知床国立公園利用適正化検討会議）
7. 法令に基づく管理の状況（自然公園法、自然環境保全法、鳥獣保護法等）

### V 長期モニタリングの結果及び評価（来年度検討）

### 参考資料

- 知床地域に見られる希少動植物  
（環境省・IUCN レッドリスト、固有種、天然記念物、国内希少野生動植物種）
- 調査研究・事業一覧
- 知床世界自然遺産に係る新聞報道一覧
- 知床世界自然遺産に係る年表
- 当該年度のおもな動き

### 索引

- 知床国立公園及び知床世界自然遺産地域のキーワードから報告書本文を参照できるものとする。例）エゾシカ、ヒグマ 等